環境まちづくり実施報告書

様式3

平成 30 年 3 月 15 日
(2018 年)

吹田市長 あて

事業所 ※注1 住所 大阪市住吉区長居東四丁目11番4号 氏名 日経ホーム株式会社 代表取締役 川口 幸浩 ㊞ 電話 (06) 6694 ― 8750	事業所 ※注1 住所 東京都千代田区神田駿河台四丁目2番地5 氏名 株式会社日本エスコン 代表取締役 伊藤 貴俊 ㊞ 電話 (03) 5297 ― 6161

事業の名称	(仮称)吹田市千里山西6丁目PRJ			
対象事業区域	吹田市 千里山西6丁目1585-1、281-4、1585-3			
設計・代理者 ※注1	住所 大阪市北区堂島2-1-31 氏名 浅井謙建築研究所株式会社 矢野 知紀 電話( ) ― (担当者:)			
工事施工者 ※注1	住所 大阪市中央区博労町二丁目二番一三号大阪堺筋ビル 氏名 大豊建設株式会社 大阪支店 常務執行役員支店長 中尾 淳一 電話( ) ―			
事業予定期間	平成 28 年 (2016 年) 1 月 20 日 から 平成 30 年 (2018 年) 1 月 15 日 まで			
事業の規模		計画部分	既存部分	合計
	対象事業面積	8,612.65 ㎡	㎡	8,612.65 ㎡
	建築面積	2,597.63 ㎡	㎡	2,597.63 ㎡
	延べ面積	19,612.30 ㎡	㎡	19,612.30 ㎡
	最高の高さ	29.69 m	m	
	構造・階数	鉄筋コンクリート 造・一部 鉄骨 造		
		地上 11 階・地下 1 階		
事業の目的・内容	区分 ☑ 新築 □ 増築 □ 改築 □ 新設 □ 増設			
	□ 土地区画整理事業 □ 市街化再開発事業 □ 宅地造成 □ 開発行為事業(目的:) ☑ 建築物の新築又は増改築の事業 (□ 工場・事業場 ☑ 住宅・共同住宅(214 戸) □ 商業施設 □ 事務所 □ 公共的建築物 □ その他(:)) □ 駐車場又は資材置場の新設又は増設の事業 □ その他 ( )		受付	
環境まちづくりの内容	ガイドライン取組事項チェックリストによる			
添付書類	・ガイドライン取組事項チェックリスト ・工事関連車輌通行ルート図 ・その他必要と認める図書		第 号	

注1 法人にあっては、その名称、代表者の氏名及び主たる事務所の所在地

環境まちづくりの概要（1）

事業者の環境方針	（株式会社日本エスコン　CSR活動への取り組み） 事業活動が生み出す環境負荷を常に考えながら、地球環境に配慮した開発や設計を重視。生ゴミを削減するディスポーザーの設置や水量の50%をカットする節水型トイレ、保温効果の高いサーモバスの採用等、物件により環境に配慮した取り組みを行っています。より良い未来を築くために、環境負荷を低減する「省資源型住宅」を積極的に推進しています。
当該事業における環境まちづくり方針	開発、建築を行うにあたり、環境に配慮した住宅を供給し、良好な景観形成、緑地の増加、ヒートアイランド現象の緩和等を行い、地域のまちづくりに貢献するものとします。 事業活動が生み出す環境負荷を常に考えながら、地球環境に配慮した開発や設計を重視します。 水量の50%をカットする節水型トイレ、保温効果の高いサーモバスの採用等を行います。 より良い未来を築くために、環境負荷を低減する「省資源型住宅」を積極的に推進します。

1. 実施率と主な実施内容

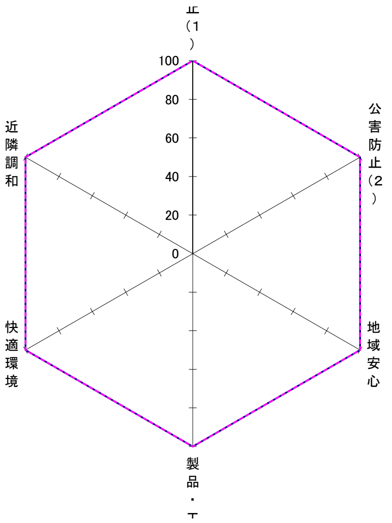
1－1. 工事中

実施率　100　**パーセント**

（小数点第2位以下切り捨て）

実施した・一部実施したの項目数 ／ **該当なしを除いた項目数** ＝ 51 ／ 51

---:方針, —:実施報告書



実施報告書	公害防止（1）	公害防止（2）	地域安心	製品・工法	快適環境	近隣調和
	20	13	5	3	5	5
	20	13	5	3	5	5

方針	公害防止（1）	公害防止（2）	地域安心	製品・工法	快適環境	近隣調和
	20	14	5	3	5	5
	20	14	5	3	5	5

主な実施内容

自動車排出ガスの低減を図る為、アイドリングをしませんでした。
騒音や振動を伴う作業は近隣に配慮した時間帯に行いました。
掘削作業などの際には、散水を十分に行いました。
工事関連車両を場外に待機させないようにしました。

環境まちづくりの概要（2）

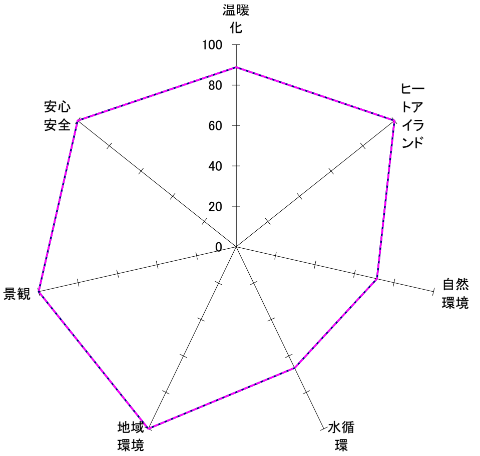
1－2. 施設・設備等

実施率 89.1 **パーセント**

実施した・一部実施したの項目数 ／ **該当なしを除いた項目数** ＝ 33 ／ 37

（小数点第2位以下切り捨て）

- - -：方針，―：実施報告書



	地球温暖化	ヒートアイランド	自然環境	水循環	地域環境	景観	安心安全
実施報告書	8	1	5	2	11	3	3
	9	1	7	3	11	3	3

	地球温暖化	ヒートアイランド	自然環境	水循環	地域環境	景観	安心安全
方針	8	1	5	2	11	4	3
	9	1	7	3	11	4	3

主な実施内容

（1）省エネルギー・低炭素なエネルギー技術の導入　　CO2削減量 537.6 t-CO2/年

導入内容　　※（CO2換算が可能な設備に関して記載ください。）

住戸内　3500個、共用部　850台　　計4350個の照明をLED照明としました。
潜熱回収型給湯器、エコジョーズを各住戸に設置しました。
214戸（熱効率＝給湯効率95%、暖房効率89%）

（2）緑地面積　　緑化率 25.0 %　　条例基準分 25.0 %以上

実施内容（緑化率に換算されない緑地（駐車場緑化・ベランダ緑化・花壇など）の面積など）

南棟西端住戸のバルコニーから駐輪場にかけての避難経路を芝生により緑化しました
（25㎡）

（3）雨水利用　　雨水貯留量 370.0 t　　うち雨水利用量 0.0 t

利用目的　【☐ 植栽水やり☐トイレの流し水☐ 洗車☐ その他 （　　）】

（4）上記以外の主な実施内容

災害時の防災対策として防災倉庫を導入しました。
オートロックシステムを導入し、安心安全に配慮した適切な整備を行いました。
ペアガラス導入による断熱性能の向上により、建築物のエネルギー負荷を抑制を図りました。断熱等性能等級4を取得しました。

環境まちづくりの概要（３）

２．方針からの変更箇所（変更箇所があれば記入してください。）

項目番号	修正前のチェック内容		修正後のチェック内容
2	実施する	⇒	一部実施した
31	実施する	⇒	該当なし
63	実施する	⇒	一部実施した
64	実施する	⇒	一部実施した
95	実施する	⇒	該当なし
		⇒	
		⇒	
		⇒	
		⇒	
		⇒	
		⇒	
		⇒	
		⇒	
		⇒	
		⇒	
		⇒	
		⇒	
		⇒	

３．その他（本ガイドライン記載の取組事項以外に実施する環境まちづくりの取組を記載ください。）

●工事中におけるガイドライン取組事項チェックリスト

本事業を実施するにあたっては、事業による環境への影響を最小限にとどめるため、法律、条例等の規制基準を遵守することはもとより、以下のとおりガイドライン取組事項を実施します。

	取 組 事 項	実 施 の 有 無	実 施 内 容 (実施、一部実施する場合は、その内容及び方法、実施しない及び該当なしの場合は理由を記入してください。)
大気汚染や騒音などの公害の防止します。			
建設機械			
1	低公害型建設機械の使用	☑ 実施した ☐ 一部実施した ☐ 実施しない ☐ 該当なし	排出ガス対策型、低騒音型や低振動型の建設機械を使用しました。
2	低燃費型建設機械の使用	☐ 実施した ☑ 一部実施した ☐ 実施しない ☐ 該当なし	低燃費型の建設機械(ハイブリット式パワーショベル)を8割程度使用しました。
3	アイドリングの禁止	☑ 実施した ☐ 一部実施した ☐ 実施しない ☐ 該当なし	排出ガス、騒音の低減を図るため、アイドリングをしないよう注意喚起しました。
4	環境に配慮した運転	☑ 実施した ☐ 一部実施した ☐ 実施しない ☐ 該当なし	空ぶかしを抑制するなど、環境に配慮した運転を行いました。
5	稼動台数の抑制	☑ 実施した ☐ 一部実施した ☐ 実施しない ☐ 該当なし	工事規模に応じた効率的な工事計画を立て、稼働台数を抑制しました。
6	工事の平準化	☑ 実施した ☐ 一部実施した ☐ 実施しない ☐ 該当なし	一時的に集中して稼働しないよう、工事の平準化を図りました。
7	機械類の整備点検	☑ 実施した ☐ 一部実施した ☐ 実施しない ☐ 該当なし	機械類は適切に整備点検を行いました。
工事関連車両			
8	低公害車の使用	☑ 実施した ☐ 一部実施した ☐ 実施しない ☐ 該当なし	燃費や排出ガス性能の良い車両を使用しました。
9	大阪府条例に基づく流入車規制の遵守	☑ 実施した ☐ 一部実施した ☐ 実施しない ☐ 該当なし	大阪府条例に基づく流入車規制を、全ての車両で確実に遵守しました。
10	工事関連車両の表示	☑ 実施した ☐ 一部実施した ☐ 実施しない ☐ 該当なし	工事関連車両であることを車両に表示しました。
11	周辺状況に配慮した走行ルートや時間帯の設定	☑ 実施した ☐ 一部実施した ☐ 実施しない ☐ 該当なし	工事車両の運行ルートや時間帯は、周辺道路の状況、住居の立地状況などを配慮して、一般の交通の集中時間帯や通学時間帯を避けて設定しました。
12	建設資材の搬出入における車両台数の抑制	☑ 実施した ☐ 一部実施した ☐ 実施しない ☐ 該当なし	建設資材の搬出入計画において適切な車種を選定することで、車両台数を抑制しました。
13	工事関連車両台数の抑制	☑ 実施した ☐ 一部実施した ☐ 実施しない ☐ 該当なし	作業従事者の通勤、現場管理等には、徒歩、二輪車、公共交通機関の利用、相乗りなどを推奨し工事関連の車両台数の抑制しました。
14	土砂の積み降ろし時の配慮	☑ 実施した ☐ 一部実施した ☐ 実施しない ☐ 該当なし	ダンプトラックによる土砂の積み下ろしの際には、騒音、振動や土砂の飛散防止に配慮しました。
15	タイヤ洗浄	☑ 実施した ☐ 一部実施した ☐ 実施しない ☐ 該当なし	周辺への土砂粉塵飛散を防止するため、現地でタイヤ洗浄を行いました。

取 組 事 項		実 施 の 有 無	実 施 内 容 (実施、一部実施する場合は、その内容及び方法、実施しない及び該当なしの場合は理由を記入してください。)
16	ドラム洗浄時の配慮	☑ 実施した ☐ 一部実施した ☐ 実施しない ☐ 該当なし	コンクリートミキサー車のドラム洗浄を行う際には、騒音や水質汚濁に配慮しました。
17	場外待機の禁止	☑ 実施した ☐ 一部実施した ☐ 実施しない ☐ 該当なし	工事関連車両を場外に待機させないようにしました。
18	クラクションの使用抑制	☑ 実施した ☐ 一部実施した ☐ 実施しない ☐ 該当なし	クラクションの使用は必要最小限にしました。
19	アイドリングの禁止	☑ 実施した ☐ 一部実施した ☐ 実施しない ☐ 該当なし	自動車排出ガスの低減を図る為、アイドリングをしませんでした。
20	環境に配慮した運転	☑ 実施した ☐ 一部実施した ☐ 実施しない ☐ 該当なし	空ぶかしを抑制するなど、環境に配慮した運転を行いました。
工事方法 騒音・振動等			
21	防音シートなどの設置	☑ 実施した ☐ 一部実施した ☐ 実施しない ☐ 該当なし	遮音性の高い仮囲い、防音シートや防音パネルを設置しました。
22	丁寧な作業	☑ 実施した ☐ 一部実施した ☐ 実施しない ☐ 該当なし	建設資材の落下を防止するなど、丁寧な作業を行いました。
23	騒音や振動の少ない工法の採用	☑ 実施した ☐ 一部実施した ☐ 実施しない ☐ 該当なし	杭の施工などの際には、騒音や振動の少ない工法を採用しました。
24	近隣への作業時間帯の配慮	☑ 実施した ☐ 一部実施した ☐ 実施しない ☐ 該当なし	騒音や振動を伴う作業は近隣に配慮した時間帯に行いました。
粉じん・アスベスト			
25	解体、掘削作業の配慮	☑ 実施した ☐ 一部実施した ☐ 実施しない ☐ 該当なし	掘削作業などの際には、散水を十分に行いました。
26	飛散防止対策	☑ 実施した ☐ 一部実施した ☐ 実施しない ☐ 該当なし	掘削により砂塵が飛散した際は、飛散防止対策をしました。
27	アスベストの調査など	☐ 実施した ☐ 一部実施した ☐ 実施しない ☑ 該当なし	事業計画地内に既存建物はないため、アスベストの使用はありませんでした。
28	アスベストの飛散防止措置	☐ 実施した ☐ 一部実施した ☐ 実施しない ☑ 該当なし	事業計画地内に既存建物はないため、アスベストの使用はありませんでした。
水質汚濁・土壌汚染・地盤沈下			
29	濁水や土砂の流出防止	☑ 実施した ☐ 一部実施した ☐ 実施しない ☐ 該当なし	道路などへの濁水や土砂の流出を防止しました。
30	塗料などの適正管理及び処分	☑ 実施した ☐ 一部実施した ☐ 実施しない ☐ 該当なし	塗料などの揮発を防止し、使用済みの塗料缶や塗装器具の洗浄液は適正に処分・管理しました。
31	土壌汚染物資の拡散防止措置	☐ 実施した ☐ 一部実施した ☐ 実施しない ☑ 該当なし	法令に基づく地歴調査の結果、有害物質による汚染のおそれはありませんでした。

取 組 事 項		実 施 の 有 無	実 施 内 容 (実施、一部実施する場合は、その内容及び方法、実施しない及び該当なしの場合は理由を記入してください。)
32	地盤改良時の配慮	☑ 実施した ☐ 一部実施した ☐ 実施しない ☐ 該当なし	セメント及びセメント系改良剤を使用するときの地盤改良の際は、六価クロム溶出試験を実施し、土壌や地下水を汚染しないよう施工致しました。
33	周辺地盤、家屋などに配慮した工法の採用	☑ 実施した ☐ 一部実施した ☐ 実施しない ☐ 該当なし	周辺地盤、家屋に出来る限り影響を及ぼさない工法を採用しました。
悪臭・廃棄物			
34	アスファルト溶解時の臭気対策	☑ 実施した ☐ 一部実施した ☐ 実施しない ☐ 該当なし	アスファルトを溶融させる際は、場所の配慮及び溶解温度管理など臭気対策を行いました。
35	現地焼却の禁止	☑ 実施した ☐ 一部実施した ☐ 実施しない ☐ 該当なし	現地では廃棄物などの焼却は行いませんでした。
36	解体時の環境汚染対策	☐ 実施した ☐ 一部実施した ☐ 実施しない ☑ 該当なし	事業計画地内に既存建物はないため、解体等は行われませんでした。
37	仮設トイレ設置時の臭気対策	☑ 実施した ☐ 一部実施した ☐ 実施しない ☐ 該当なし	仮設トイレは適切なメンテナンス、設置場所の配慮、臭気対策を行い設置しました。
地域の安全安心に貢献します。			
38	地域との連携における事故の防止	☑ 実施した ☐ 一部実施した ☐ 実施しない ☐ 該当なし	近隣自治会などから地域の交通情報の聴き取りを行い、十分な人数の警備員を配置し事故防止に努めました。
39	児童などへの交通安全の配慮	☑ 実施した ☐ 一部実施した ☐ 実施しない ☐ 該当なし	児童や生徒が安全に登下校できるよう通学時刻に配慮し、工事現場周辺の交通安全に配慮しました。
40	夜間や休日の防犯対策	☑ 実施した ☐ 一部実施した ☐ 実施しない ☐ 該当なし	夜間や休日に工事関係者以外の者が工事現場に立ち入らないよう出入口を施錠するなどの対策を講じました。
41	児童などへの見守り、声かけ	☑ 実施した ☐ 一部実施した ☐ 実施しない ☐ 該当なし	登下校中や放課後の児童や生徒の見守り、声掛けなどに取り組みました。
42	地域の防犯活動への参加	☑ 実施した ☐ 一部実施した ☐ 実施しない ☐ 該当なし	近隣自治会などと連携し、地域の防犯活動に参加しました。
環境に配慮した製品及び工法を採用します。			
省エネルギー			
43	エネルギー消費の抑制	☑ 実施した ☐ 一部実施した ☐ 実施しない ☐ 該当なし	エネルギー効率の良い機器の利用等により、工事中に使用する燃料、電気、水道水などの消費を抑制しました。
省資源			
44	残土発生の抑制	☑ 実施した ☐ 一部実施した ☐ 実施しない ☐ 該当なし	建設発生土は現地での埋め戻しに使用する等、残土発生を抑制しました。
45	廃棄物の減量	☑ 実施した ☐ 一部実施した ☐ 実施しない ☐ 該当なし	資材の梱包などを最小限にして、廃棄物を減量しました。
快適な環境づくりに貢献します。			
景観			
46	仮囲い設置時の配慮	☑ 実施した ☐ 一部実施した ☐ 実施しない ☐ 該当なし	仮囲いの設置にあたっては、機能性を確保した上で景観面にも配慮しました。

	取 組 事 項	実 施 の 有 無	実 施 内 容 (実施、一部実施する場合は、その内容及び方法、実施しない及び該当なしの場合は理由を記入してください。)
47	仮設トイレ設置時の配慮	☑ 実施した ☐ 一部実施した ☐ 実施しない ☐ 該当なし	仮設トイレは、近隣住民や通行者に不快感を与えないよう、設置場所等を工夫致しました。
周辺の環境美化			
48	周辺道路の清掃	☑ 実施した ☐ 一部実施した ☐ 実施しない ☐ 該当なし	工事現場内外を問わずポイ捨てを防止し、周辺道路の清掃を実施しました。
49	場内整理	☑ 実施した ☐ 一部実施した ☐ 実施しない ☐ 該当なし	建設資材、廃棄物などの場内の整理整頓を行いました。
ヒートアイランド現象の緩和			
50	打ち水	☐ 実施した ☑ 一部実施した ☐ 実施しない ☐ 該当なし	水道水以外の用水を確保するのが困難であったため、夏期は水道水で周辺道路に打ち水を行いました。
地域との調和を図ります。			
工事説明・苦情対応			
51	工事内容の事前説明及び周知	☑ 実施した ☐ 一部実施した ☐ 実施しない ☐ 該当なし	近隣住民に工事実施前に工事概要、作業工程などを十分説明し、また工事実施中も適宜、現況と今後の予定をお知らせし、理解を得るようにしました。
52	苦情対応	☑ 実施した ☐ 一部実施した ☐ 実施しない ☐ 該当なし	工事に関しての苦情窓口を設置し、連絡先などを掲示するとともに、苦情が発生した際には真摯に対応しました。
周辺の教育・医療・福祉施設への配慮			
53	工事内容の事前説明及び工事計画の配慮	☑ 実施した ☐ 一部実施した ☐ 実施しない ☐ 該当なし	近隣住民、また千里新田小学校、桃山台小学校、南千里中学校に、工事実施前に工事概要、作業工程などを十分説明するとともに、施設での行事や利用状況に応じた工事計画にしました。
54	騒音、振動などの配慮	☑ 実施した ☐ 一部実施した ☐ 実施しない ☐ 該当なし	千里新田小学校、桃山台小学校、南千里中学校に対して、工事実施前に工事概要、作業工程などを十分説明するとともに騒音、振動、通風、採光などの配慮をしました。
周辺の事業者との調整			
55	複合的な環境影響の抑制	☑ 実施した ☐ 一部実施した ☐ 実施しない ☐ 該当なし	工事が重複することによる複合的な騒音、振動、粉塵、工事車両の通行及びその他の環境影響を最小限に抑制するため、周辺地域における大規模な工事の状況を把握し、該当する事業者、工事施行者などと連絡を取り、可能な限り工事計画などを調整するよう努めました。

●施設・設備等に係るガイドライン取組事項チェックリスト

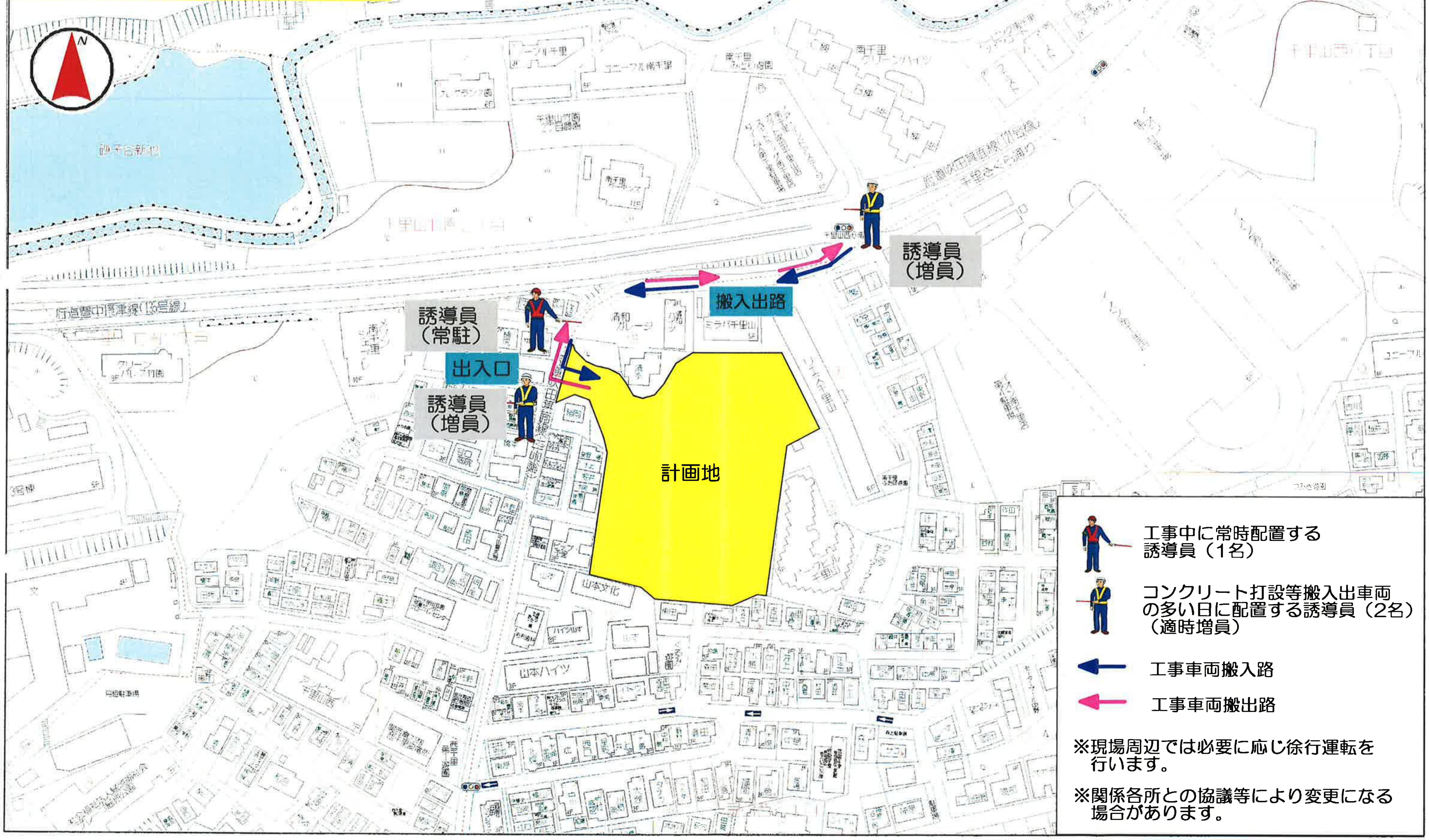
本事業を実施するにあたっては、法律、条例等の規制基準を遵守することはもとより、事業による環境への影響を最小限にとどめ、また、新たな環境負荷の発生を事前に防止するとともに、地域の環境レベル向上に貢献するため、以下のとおりガイドライン取組事項を実施します。

	取組事項	実施の有無	実施内容 (実施、一部実施する場合は、その内容及び方法、実施しない及び該当なしの場合は理由を記入してください。)
地球温暖化対策を行います。			
56	大阪府建築物の環境配慮制度及び大阪府建築物環境性能表示制度の活用	☑ 実施した ☐ 一部実施した ☐ 実施しない ☐ 該当なし	大阪府建築物の環境配慮制度において高い評価結果を得られるよう努めました。また、その評価結果を大阪府建築物環境性能表示制度により広告物などに表示しました。CASBEEはB+を取得しました。
57	高効率及び省エネルギー型機器などの採用	☑ 実施した ☐ 一部実施した ☐ 実施しない ☐ 該当なし	省エネ効果の高いLED照明を4350台導入しました。エコジョーズを全戸(214戸(熱効率＝給湯効率95%、暖房効率89%))に設置しました。節水型トイレを採用しました。
58	再生可能エネルギーの活用	☐ 実施した ☐ 一部実施した ☑ 実施しない ☐ 該当なし	事業採算上実施いたしませんでした。
59	エネルギー効率の高いシステム及び機器導入の検討	☑ 実施した ☐ 一部実施した ☐ 実施しない ☐ 該当なし	排気熱を再利用し、少ないガス量で効率よくお湯を沸かすエコジョーズを全住戸(214戸(熱効率＝給湯効率95%、暖房効率89%))に採用致しました。
60	冷媒漏えい(使用時排出)の防止	☑ 実施した ☐ 一部実施した ☐ 実施しない ☐ 該当なし	高い地球温暖化係数を有する温室効果ガスを冷媒として使用する装置を有する設備(空調機器)を設置する際には、設置後に配管などからの冷媒の漏えい(使用時排出)が発生しないよう安全設計に配慮しました。
61	建築物のエネルギー負荷の抑制	☑ 実施した ☐ 一部実施した ☐ 実施しない ☐ 該当なし	ペアガラス導入による断熱性能の向上により、建築物のエネルギー負荷の抑制を図りました。断熱等性能等級4を取得しました。
62	長寿命な建築物の施工	☑ 実施した ☐ 一部実施した ☐ 実施しない ☐ 該当なし	基本構造の耐久性を高め、建築物の長寿命化を図りました。劣化対策等級3を取得しました。
63	環境に配慮した製品の採用	☐ 実施した ☑ 一部実施した ☐ 実施しない ☐ 該当なし	公園の植栽帯には防草シートの代わりに、高い透水性で微生物の活動を保護し土壌を安定させ樹木を守るマルチバーク(木材チップと樹皮を主材料としたもの)を使用しました。住戸内のパーティクルボードは全て、公益財団法人 日本環境協会 エコマーク事務局の定める認定基準をクリアしたエコマーク製品を採用しました。灰溶融スラグを利用したインターロッキングを一部採用するよう検討しましたが、事業採算上、また外構デザイン性の向上のために他に使用したい製品がありましたので、不採用となりました。
64	製造に要するエネルギーが少ない建設資材の採用	☐ 実施した ☑ 一部実施した ☐ 実施しない ☐ 該当なし	住戸内のパーティクルボードは全て、公益財団法人 日本環境協会 エコマーク事務局の定める認定基準をクリアしたエコマーク製品を採用しました。灰溶融スラグを利用したインターロッキングを一部採用するよう検討しましたが、事業採算上、また外構デザイン性の向上のために他に使用したい製品がありましたので、不採用となりました。
ヒートアイランド対策を行います。			
65	ヒートアイランド対策	☑ 実施した ☐ 一部実施した ☐ 実施しない ☐ 該当なし	緑化率に換算されない緑地として、南棟西端住戸のバルコニーから駐輪場にかけての避難経路を芝生により緑化しました(25㎡)。また屋上に高反射率塗料を採用し(1510㎡)、ヒートアイランド対策を行いました。
自然環境を保全し、みどりを確保します。			
66	動植物の生息や生育への配慮	☑ 実施した ☐ 一部実施した ☐ 実施しない ☐ 該当なし	動植物の生息や生育環境に配慮し周辺地域に調和した計画としました。
67	地域のシンボルツリーの保全	☐ 実施した ☐ 一部実施した ☐ 実施しない ☑ 該当なし	事業計画地内には、地域のシンボルツリーはありませんでした。
68	既存の植生の保全	☐ 実施した ☐ 一部実施した ☑ 実施しない ☐ 該当なし	既存樹木の保全に関しては、造成計画上の問題から実施いたしませんでした。
69	生物の生息空間の保全	☑ 実施した ☐ 一部実施した ☐ 実施しない ☐ 該当なし	東側隣地の緑地と事業計画地内の緑地を連続させて配置し、生物の生息空間の保全に努めました。
70	駐車場緑化	☐ 実施した ☐ 一部実施した ☑ 実施しない ☐ 該当なし	事業採算上実施いたしませんでした。

取　組　事　項		実　施　の　有　無	実　施　内　容 (実施、一部実施する場合は、その内容及び方法、実施しない及び該当なしの場合は理由を記入してください。)
71	屋上緑化など	☑ 実施した　☐ 一部実施した ☐ 実施しない　☐ 該当なし	計画地出入口部分の擁壁に壁面緑化を行いました。(51.8㎡)
72	法面緑化	☑ 実施した　☐ 一部実施した ☐ 実施しない　☐ 該当なし	南棟東側の開発により生じた法面に対して緑化を行いました。(84.4㎡)
73	植栽樹種の選定	☑ 実施した　☐ 一部実施した ☐ 実施しない　☐ 該当なし	植栽樹種は、地域の環境に合わせた植物を選定しました。
水循環を確保します。			
74	水資源の有効利用	☐ 実施した　☐ 一部実施した ☑ 実施しない　☐ 該当なし	事業採算上実施致しませんでした。
75	雨水流出を抑制する施設の設置	☑ 実施した　☐ 一部実施した ☐ 実施しない　☐ 該当なし	雨水流出を抑制するために、370tの雨水貯留槽を設置しました。
76	雨水浸透への配慮	☑ 実施した　☐ 一部実施した ☐ 実施しない　☐ 該当なし	プレイロットへのアプローチに260㎡、インターロッキングブロックを使用し、雨水の浸透性を高めました。
地域の生活環境を保全します。 大気・騒音・振動等			
77	騒音を発生させる設備設置時の配慮	☑ 実施した　☐ 一部実施した ☐ 実施しない　☐ 該当なし	空調機などの騒音を発生させる設備を隣地から遠ざけるなど、騒音や振動対策を行いました。
78	防音サッシの設置	☐ 実施した　☐ 一部実施した ☐ 実施しない　☑ 該当なし	周辺に幹線道路及び鉄道はありませんでした。
79	駐車場の配置計画時の配慮	☑ 実施した　☐ 一部実施した ☐ 実施しない　☐ 該当なし	周辺環境への自動車の排気ガスや騒音を防止するため、出来る限り駐車場の配置は住居に隣接しない計画にするよう配慮しました。
80	近隣への悪臭及び騒音の配慮	☑ 実施した　☐ 一部実施した ☐ 実施しない　☐ 該当なし	近隣への悪臭、騒音などを防止するため、窓、換気扇、排気口、廃棄物置き場の位置等に配慮しました。
81	ボイラーなどの機器設置時の排出ガス対策	☐ 実施した　☐ 一部実施した ☐ 実施しない　☑ 該当なし	ボイラーなど、燃料を燃焼する設備はありませんでした。
82	屋外照明や広告照明設置時の配慮	☑ 実施した　☐ 一部実施した ☐ 実施しない　☐ 該当なし	屋外照明や広告照明については、近隣住民に対する光の影響を抑制するよう配慮しました。
83	建築資材による光の影響の考慮	☑ 実施した　☐ 一部実施した ☐ 実施しない　☐ 該当なし	建築資材(ガラスなど)による太陽の反射光については、設置の際に可能な限り、光の影響を考慮しました。
84	環境に配慮した塗料の使用	☑ 実施した　☐ 一部実施した ☐ 実施しない　☐ 該当なし	塗料は、水性塗料や揮発性有機化合物(VOC)の含有率の低いものを採用するよう努めました。
85	周辺の教育、福祉や医療施設への配慮	☑ 実施した　☐ 一部実施した ☐ 実施しない　☐ 該当なし	周辺の千里新田小学校、桃山台小学校、南千里中学校に対して、騒音、振動、通風に配慮をした計画としました。

	取 組 事 項	実 施 の 有 無	実 施 内 容 (実施、一部実施する場合は、その内容及び方法、実施しない及び該当なしの場合は理由を記入してください。)
中高層建築物(高さ10メートルを超える建築物)			
86	日照障害対策	☑ 実施した □ 一部実施した □ 実施しない □ 該当なし	日照被害については、建築基準法の日影規制対象外地域を含めた地域についての日影図を作成し、発生する範囲を事前に把握し、近隣住民に説明するとともに、できる限りその軽減をしました。
87	電波障害の事前把握及び近隣説明	☑ 実施した □ 一部実施した □ 実施しない □ 該当なし	電波障害の発生が想定される範囲を、現地調査、机上調査、影響範囲図作成などにより事前に把握し、近隣住民に説明しました。
88	電波障害発生時の改善対策	☑ 実施した □ 一部実施した □ 実施しない □ 該当なし	電波障害が発生した一件につきましては、竣工時にケーブルテレビによる改善対策を行いました。今後、計画建物が起因する電波障害については継続して対策を行います。
89	プライバシーの配慮	☑ 実施した □ 一部実施した □ 実施しない □ 該当なし	プライバシーを配慮して型板ガラスを採用したり、近隣住民の要望に応じてフェンスの種別や高さを変更しました。
景観まちづくりに貢献します。			
90	地域への調和	☑ 実施した □ 一部実施した □ 実施しない □ 該当なし	本市の自然条件や風土、歴史の流れの中で培われた地域の個性を尊重し、地域に調和したものとなるよう配慮しました。
91	景観まちづくり計画の目標と方針に基づいた計画及び設計	☑ 実施した □ 一部実施した □ 実施しない □ 該当なし	景観資源の質の向上と地域特性を活かしたまちづくりに資するよう、「景観まちづくり計画」の類型別景観まちづくり計画と地域別景観まちづくり計画の目標と方針に基づいた計画と設計を行いました。
92	景観形成に関わるガイドラインや方針に配慮した計画及び設計	□ 実施した □ 一部実施した □ 実施しない ☑ 該当なし	事業計画地は、ガイドラインを有するエリアではありませんでした。
93	景観形成地区指定の協議	□ 実施した □ 一部実施した □ 実施しない ☑ 該当なし	計画区域は1haを超えない為対象外でした。
94	景観形成基準の遵守	☑ 実施した □ 一部実施した □ 実施しない □ 該当なし	景観形成基準を遵守し、景観まちづくりを推進しました。
95	屋外広告物の表示などに関する基準の遵守	□ 実施した □ 一部実施した □ 実施しない ☑ 該当なし	屋外広告物はありませんでした。
安心安全のまちづくりに貢献します。			
96	歩行者が安全に通行できる空間整備	☑ 実施した □ 一部実施した □ 実施しない □ 該当なし	計画地内において、歩行者が安全に通行できるよう、出入口部分に道路を横断する際のたまりの空間を確保しました。
97	災害時、緊急時対応のための安心安全に配慮した整備	☑ 実施した □ 一部実施した □ 実施しない □ 該当なし	災害時の防災対策として防災倉庫を導入しました。
98	防犯対策のための安心安全に配慮した整備	☑ 実施した □ 一部実施した □ 実施しない □ 該当なし	オートロックシステムを導入し、安心安全に配慮した適切な整備を行いました。

工事車両運行経路（案）



誘導員（増員）
搬入出路
誘導員（常駐）
出入口
誘導員（増員）
計画地
工事中に常時配置する誘導員（1名）
コンクリート打設等搬入出車両の多い日に配置する誘導員（2名）（適時増員）
工事車両搬入路
工事車両搬出路
※現場周辺では必要に応じ徐行運転を行います。
※関係各所との協議等により変更になる場合があります。